警察の鑑識体験

平成２８年７月４日（月）、揖斐署の警察官６名に来校いただき、指紋や足型を採取する体験学習が行われました。警察官を希望する生徒や科学部に在籍する生徒たち、計 24 名がテレビドラマでしか見たことのない捜査を実際に体験することができました。

実際に体験してみると、指紋や足型を綺麗に採取するのが難しく、状況によって取り方にも色々な方法があることが分かりました。指紋採取を進めていく過程で、生徒から捜査に関する様々な質問や感想が飛び交っていました。その他にも警察官の装備品である、防護服、警棒、手錠等にも実際に触れるだけでなく、警察官の様々な仕事や部門について細かな説明をしていただき、大変実りある時間を過ごすことができました。

【指紋採取】

【足形採取】

【受講した生徒の感想】

○　改めて警察官への憧れを強く持ちました。鑑識の仕事で指紋を取るだけでも色々な方法があり、更に詳しく知りたいと思いました。日々、人のために働いていて、時には犯人とも関わることがある中で、常に冷静に物事を判断し、瞬時に行動する姿に感動しました。自分も周りの人から頼りにされ、憧れを持ってもらえる警察官になりたいと思いました。

○　警察官に憧れている私にとっては、非常に有意義な時間でした。普通では体験できないようなことや、なかなか聞けないお話などを聞かせていただいて、自分の持つビジョンが更に広がったと感じています。大学で法律を勉強したら必ず警察に入り、刑事になりたいと思います。そのために今できることは、法学に強い大学へ行き、現場で必要な法律の知識を身に付け、トレーニングを怠らず、何者にも負けない強靭な肉体を作り上げることだと感じました。将来は必ず警察官になって、日本をより平和な国にしていきたいと思います。

○　普段生活していく中では決してできないような体験でした。私は将来の夢はまだはっきりとしてはいませんが、また１つ選択肢が増えたよい経験となりました。警察のお仕事というのは、とても誇りあるもので、人を守ったり、地域を守ったりと、本当に素敵だと思います。今からできることは沢山あると思うので、積極的に人助けや、困っている人のもとへ行くことを大切にしていきたいです。今日学んだことを今後に活かしていければいいなと思います。